

令和6年9月4日

記者発表資料

「水道システムの再構築」の実施に伴う県民・市民の負担軽減に向けた財政支援制度の創設を求める要望の実施について

神奈川県議会、横浜市会、川崎市議会、横須賀市議会及び神奈川県内広域水道企業団議会は、5水道事業者[※]が連携協力して実施する全国的なモデルケースとなる水道システムの再構築（水道施設のダウンサイジング、バックアップ機能強化、脱炭素化等）の取り組みについて、県民・市民が水の心配をせずに安心して暮らすための早期実現と施設整備に係る多くの費用が将来の水道利用者の過度な負担とならないよう、次のとおり「国の財政支援制度の創設」を求め要望を行いましたので、お知らせします。

※5水道事業者：神奈川県企業庁、横浜市水道局、川崎市上下水道局、横須賀市上下水道局
神奈川県内広域水道企業団

1 実施日

令和6年9月3日（火曜日）

2 要望先

国土交通省大臣 齊藤 鉄夫

衆議院議員 菅 義偉

衆議院議員 田中 和徳（水道事業促進議員連盟）

3 要望者

神奈川県議会議長

柳下 剛

横浜市会常任委員会委員長

伊波 俊之助

川崎市市議会議員

橋本 勝

横須賀市議会議長

大野 忠之

神奈川県内広域水道企業団議会議長

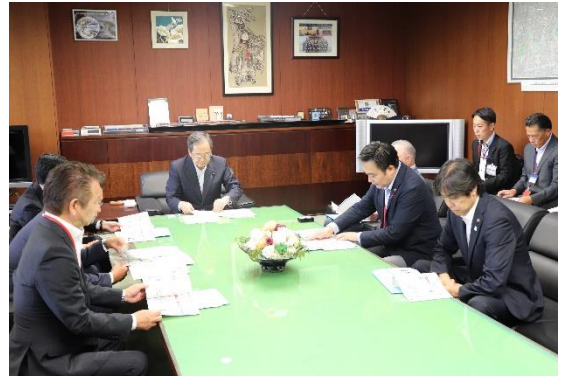
浅野 文直

神奈川県内広域水道企業団議会議員

しきだ 博昭



(左から しきだ企業団議員、浅野企業団議会議長、橋本川崎市議会議員、柳下神奈川県議会議長、齊藤国土交通大臣、伊波横浜市会常任委員会委員長、大野横須賀市議会議長)



齊藤大臣への説明



(左から しきだ企業団議員、浅野企業団議会議長、橋本川崎市議会議員、菅義偉衆議院議員、柳下神奈川県議会議長、伊波横浜市会常任委員会委員長、大野横須賀市議会議長)



(要望者の並びは上記と同じ。左から4番目 田中和徳衆議院議員)

4 要望内容 (別紙)

5 議会で議決した共通意見書(写)

※各議会が連携協力して共通意見書を議決し、関係大臣に要望を行ったのは、県内初の取り組みになります。

(お問合せ)
神奈川県内広域水道企業団
議会事務局 大江 伸治
TEL 045-363-1111 (代)
090-4622-3590 (携)
E-mail ooe.sa@kwsa.or.jp